

ほん・本・ブック (修練会)

公益財団法人豊島修練会 2017年8月24日号 (通算第24号)

子どものほん (幼稚園年長&小学校低学年、勿論絵本を楽しむ大人にも)

神山かなえ作・絵「ゆめのふうせん」

ちいさな えほんです。えが とてもきれいで ゆめの せかいへ いったように かんじます。ひらがなが よめれば、だれでも よめますよ。

おうちの ひとに ふつうの こえで ゆっくり よんで あげて ください。そして、みんなで、どうおもったか はなしあうと いいですね。



大人の本 (パパ&ママ、ジジ&ババなど)

神山かなえ作・絵「ゆめのふうせん」 800円 Eメール: kahaehikarinoart@gmail.com

誰もが持っている夢の風船。・・・いろいろあって、みんなの風船が遠くに飛んで行ってしまった。そして、みんな、お互いを見ることができた。風船のなくなった手は、隣にある手と繋がれ、新しい世界が始まります。…というような話です。



カラーインクの淡い絵と、ひらがなの易しい表現が、ファンタジーの世界へいざない、読み手の心をほっこりとつつんでくれます。

お子様と一緒に読んで、感じたことを素直に話し合うといいと思います。

作者の神山さんは、絵本の製作のほか、似顔絵、持ち物の名札作り、家族やペットへの思いを絵に描く、アクセサリー作り、絵描き教室の開催、曼茶羅など仏画と、幅広く活躍しています。

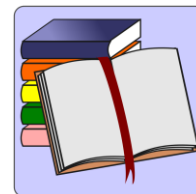
学校の先生のブック (小学校・中学校の先生)

田中耕治・石井英真・八田幸恵・本所恵・西岡加名恵著

「教育をよみとく・教育的探究のすすめ」 有斐閣 定価 1500円

本書は、高校生向けに「研究とは何をどうすることか」を、教員志望の大学生向けに「教育を研究する面白さとは何か」を、新任・若手教師向けに「教職の深さとは何か」を、編集したものです。したがって、子供と直接向き合う教師のために、基本的な事柄を「難しいことを易しく、複雑なことは単純化して」明解に解説したもので、とても参考になります。

内容は、「探究的学びのすすめ」、「早期教育—何ごとも早い時期から教えたほうがよいのか?」、「学力低下—ゆとり教育は学力低下を招いたのか?」、「道徳教育でいじめ問題は解決できるのか?」、「個性尊重—日本の授業は画一的か?」、「格差—本人の努力の問題か?）」、「問いを立てる—テーマの見つけ方」、「本の読み方」、「現実を捉える方法」、「学び合う—議論するためのスキル」、「教師の仕事」、「授業をつくる教師の力」、「教わる立場から、教える立場へ」などと充実しています。高校生、大学生、若手教師の学びになることは勿論のこと、豊かな体験を持つベテラン教師にも、これまで積み上げてきた実績を振り返り、再構成していくヒントが得られる良書です。



(YAYU)

★備考★話題提供として本を紹介しているだけで、購読を勧めるものではありません。【成美教育文化会館】で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の部屋・研修会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。